

事前評価報告書

令和6年10月3日（木）

研究種別	総理研課題	
研究課題名	富士山防災学習カリキュラムの構築	
研究期間	令和7年度 ～ 令和9年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	3.8
2	研究内容の新規性	3.2
3	研究目標、研究計画の妥当性	3.0
4	研究体制、研究予算の妥当性	3.0
	総合評点	3.3
[評価所見]		
<p>○災害が多発している現在において、富士山噴火のリスクに直面している山梨県では防災意識を向上させるカリキュラム構築は不可欠な課題である。</p> <p>○火山をツールとして防災知識と「考える能力」の獲得を目指す点で新しいアプローチである。</p> <p>○共同研究を実施する研究機関や学校との連携がとれている。</p> <p>○目標達成が期待される研究計画となっているが、具体的なカリキュラムの内容や目標達成の自己評価方法をより明確化すべき。</p> <p>○火山を軸に様々な防災学習の模範になると期待され、構築されるカリキュラムは高校生以上の大人にも活用できることを強調すべき。</p>		